

 <p style="text-align: center;"><b>小平第十小学校</b> (おらがまちの小学校) <b>コミュニティ・スクール(CS)だより</b></p>	<p style="text-align: center;">第3号</p> 
<p style="text-align: center;">小平市立小平第十小学校 学校経営協議会</p>	<p style="text-align: center;">令和5年1月11日</p>

### ■コミュニティ・スクール (CS) とは

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の6）に基づいた仕組みです。

**十小CS 取組方針 笑顔と夢が広がる未来を拓く**

～ **コ** (子ども) の **ミ** (未来) へ **ス** (スクラム) **ク** (組んで) ～

**子どもの**  
安心・安全を確保し  
健やかな成長を支援する

**スクラム**  
学校・保護者・地域が  
常に連携し、皆で子どもを  
見守る環境を整える



**未来へ**  
夢に向かって学び続け、  
考える力と強くしなやかな  
心を育てる

**組んで**  
子どもがいつでも安心して  
過ごせる「ふるさと」を  
協働して創る

## 第三回 協議会

9月17日11:30より多目的ホールで開催

### 1) あいさつ

学校経営協議会 今村会長よりあいさつがありました。

- 学校の取り組みをよく知るためのお話を伺うのも、今回で2回目です。本会は十小の課題を顕在化し取り組んでいく、という道のりの半ばにいます。
- 本日もお話しただく学校の取り組みも活動のヒントの一つとして、今後も考えていきたいと思っています。

### 2) 「校内研究について」の説明 辻先生より

十小の校内研究の三本柱について説明がありました。

#### ①「日常的な取り組み」

みんなが分かりやすい伝え方、掲示などの工夫

## ②「授業研究」

先生方自ら希望する研究について、学年や世代を超えたグループで進めている。

## ③「OJT 研修」

先生同士での学びあい。若手教員向けとはいえ、みんなで参加することも多く、どの世代であっても学びは継続していく。

## 3) 協議

2) をふまえ、2つに分かれて感じたことや疑問などを話し合い(20分間)、その後全体で共有しました。

## 4) 協議のまとめ

西校長先生より、まとめのお話がありました。



# 第四回 協議会

11月26日15:30より多目的ホールで開催

## 1) あいさつ

学校経営協議会 今村会長よりあいさつがありました。

- 前回までの協議会の中で、十小の生活指導や校内研究についての説明がありました。今回は学校行事についての説明を伺うということで、学校が普段どんな取り組みをしているのかが、この場を通じてよく分かるようになってきました。
- CS の活動は目に見えづらいものだと思いますが、学校の活動との協働につながったり、今後の活動が広がっていくという効果があると思います。
- 12月10日(土)のコミュニティスクール推進フォーラムの案内
- PTA 防災委員会発行の「防災だより」の紹介

## 2) 「十小の学校行事について」の説明 小澤副校長先生より

### ①「学校行事とは」

②「令和4年度2学期の主な学校行事」

③「十小の主な学校行事」

各項目について説明があり、どのような目標でそれぞれの行事が行われているのか、ということへの理解が深まりました。

### 3) 協議

2)をふまえ、感じたことや疑問などを話し合い(20分間)、その後全体で共有しました。

(話し合いでは、先生を含めた4名ずつ3組に分かれ、先生・保護者・地域、それぞれの立場から意見を出し合いました。)

<一部紹介します>

○学校行事のよさについて、次のような話が出ました。

- ・一つのものを作りあげることや、より良いものを作りたいという気持ちが生まれること。また、その過程で自主的な努力をすること。
- ・子どもの生の姿が見られること。

○各学校行事の感想、意見

- ・+ SHOW フェスティバルは、行事のために何か特別なことをするのではなく、普段の授業で行われていることを生かしている感じでよかったと思う。
- ・+ SHOW フェスティバルで、先生やPTAとのコーラスもあったら良い。
- ・スポーツフェスティバルは、競争ではなくみんなで作り上げるという良さがあったと思う。
- ・宿泊を伴う行事は、子ども同士や、子どもと先生の間関係をより深めることができると思う。
- ・一生懸命やることも大事だが、負担になりすぎないようにするのも大事だと思う。
- ・英語を活用する行事を取り入れるのはどうか。例えば過去に行ったことがある津田塾大学との交流など。

### 4) 協議のまとめ

西校長先生より、お話がありました。

○次回以降も引き続き話し合いを行っていきます。

今後も、令和4年度における学校経営協議会の重点目標である「熟議」によって「十小のよさと課題」を顕在化し、地域力を使って問題解決に繋げていきます。

■次回の協議会 令和5年1月28日(土) 11:30~ 家庭科室又は ZOOM